

函館港大規模地震・津波総合防災訓練の実施について

北海道開発局 函館開発建設部

令和元年10月27日(日)、函館港において、大規模地震・津波総合防災訓練を実施しました。

訓練は、函館市及び北海道開発局が主催となり、18の機関・団体から150名を超える参加者がありました。

樺澤函館開発建設部長から訓練開始の宣言、工藤函館市長から「災害時における関係機関相互の連絡体制の確認や港の機能の早期回復を目的とした各種の訓練

を通して、防災意識を一層高めていきたい」と開会挨拶されたのち、来賓でお見えになった衆議院議員 逢坂誠二先生から「災害時に、いち早くしっかりとした備えをすることが何よりも大切。そのために日頃から訓練を積み重ねることが非常に重要。本日の訓練が函館で開催されるのは非常に貴重な機会。」とのご挨拶をいただき、訓練を開始しました。



開会式の参列状況



樺澤函館開発建設部長 訓練開始宣言



工藤函館市長 開催挨拶



(来賓挨拶) 衆議院議員 逢坂誠二先生

訓練は、三陸沖北部を震源とするマグニチュード8.3の地震が発生し、函館市では震度6強の強い揺れが発生。

この地震発生直後に大津波警報が発表され、最大8.9mの津波が襲来、その後、津波注意報に切り替わり、津波警報も解除された状況という想定で、①避難訓練、

②漂流者捜索・救助訓練、③港湾巡視訓練、④油防除訓練、⑤航路啓開訓練、⑥被災状況調査訓練、⑦緊急支援物資輸送訓練の7項目の訓練を行いました。

訓練当日は天候にも恵まれ、予定していた全ての訓練を行うことができ、各関係機関・団体による迫力ある訓練が展開されました。



①避難訓練



②漂流者搜索・救助訓練



③港湾巡視訓練



④油防除訓練
(上空からの油流出範囲確認)



④油防除訓練
(吸着マット使用状況)



⑤航路啓開訓練



⑥被災状況調査訓練
(ドローンによる上空からの目視)



⑥被災状況調査訓練
(陸上測量状況)



⑦緊急支援物資輸送訓練



北原空港・防災課長 講評

訓練後、北原北海道開発局港湾空港部空港・防災課長から「本日は避難・巡視・啓開・物資輸送までの流れを実際の船舶・車両を用いて実施。関連機関各々の役割と相互連携を確認できたことは極めて有意義。また、訓練で気付いた点、今後取り組むべき課題等は、各々の機関のBCPにフィードバックさせることで、より実効性の高い防災体制が構築可能。このような訓練を定期的に行うことで大規模災害時における港湾の役割を広く認識してもらえればと考える。」との公表をいただき、無事訓練を終了することができました。

今後も、より一層の安全・安心な港湾活動の実現に向けて、関係機関・団体の相互協力体制を強化して、災害時に連携して迅速な対応ができるよう努めてまいります。